

先行型交付金に係る事業実施結果報告

資料2

No	① 交付対象事業の名称	② 概要	③ 内容	④ 実績額 (単位:円)	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について	
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
例	<近隣他市の例> 観光交流促進事業	—	—	3,000,000	指標① 集客イベント等(スタンブラリー等) 協力店舗・参加者数	500	人	H28.3	1,548	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	従来とは一線を画した、目を引くコンテンツができつつある。せつかくの良い成果品について、どのように発信するか、どうやれば手にして見られるか、よく検討してほしい。	追加等更に発展させる	来訪者及び売上の増加という目に見える効果があり、地域の意識改革にもつながった。多様な観光ニーズを踏まえ、テーマやターゲットを絞った店舗等への集客施策を実施予定であり、官民連携して行っていく。
1	定住促進事業	若者世帯の転出を抑制し、市内での定住を促進するため、40歳未満の夫婦が新たに市内に住宅を建築(取得)する際に課税される固定資産税及び都市計画税の一部に対して助成する。	床面積120㎡までの住宅における固定資産税及び都市計画税相当額の助成。	21,541,900	指標① 助成件数	340	件	H28.3	293					
2	「話せる英語教育」推進事業	英語教育を小学1年生から導入し、中学3年生までの9年間で英語による日常会話ができるようカリキュラムを作成し、グローバル社会に対応した「ひとづくり」を実施する。	小学校での英語教育導入のなかで、指導委託やボランティアを活用し、夏季英語教室など実施。	18,542,398	指標① 授業実施時間(小1～4) 授業実施時間(小5～6)	10 35	時間	H28.3	10 35					
3	ハーブ産業推進事業	ハーブによる農業の6次産業化の推進により、三木の新たな特産品として全国に発信するとともに、(仮称)別所ゆめ街道を中心とした地域活性化を進める。	ハーブを新たな特産品として、商品開発や販路開拓を行う事業者に対し、デザイン料や印刷費、商談会出展等に要する経費助成。	3,000,000	指標① ハーブによる収入額	12,000	千円	H28.3	13,970					
4	マルシェによる商店街活性化事業	大型店等の進出やネット通販の浸透、経営者の高齢化で寂れている商店街にあって、人と人とのコミュニティの場としてマルシェ(定期市)を開催し、商店街の活性化やまちのにぎわいを創出する。	商店街2か所(計3回)における定期市への出店等の支援	3,000,000	指標① 総集客数	10,000	人	H28.3	13,700					
5	三木版地方創生総合戦略策定事業	人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力あるまちづくりを進めることを目的とした「三木版地方創生総合戦略」を策定するため、必要な調査等を実施する。	—	621,338	指標①									
6	住宅リフォーム促進事業	市内総生産額を増加させ、まちの成長につなげるため、市民が市内業者を活用した住宅リフォーム工事を行った場合に、その費用の一部を助成することで、市内中小企業の振興を図る。	地域経済の活性化のため、市民が市内業者に住宅リフォームを発注した場合、その費用の10分の1(20万円以上の工事を対象とし、10万円の助成を限度)相当額を助成。	11,000,000	指標① 助成件数 経済効果	200 260,000	件 千円	H28.3	170 281,947					